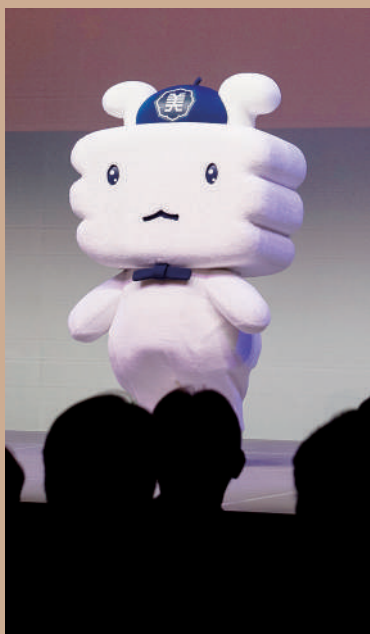
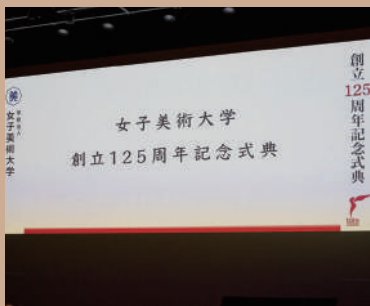


女子美と学生を応援する
 父母等と教職員の会
 ニケの会

2026 SPRING
 第29号
 news letter



創立125周年
 記念式典



学長挨拶・会長挨拶
 お知らせー特別聴講・総会・教員との懇談会
 専攻・領域・コース別懇談会
 PICKUPー各専攻・領域・コース後期授業の様子
 活動報告ー女子美祭「ニケカフェ」・秋の散策ツアー
 学生生活ー学位授与式・卒業制作展

学長挨拶

ニケの会の皆様、日頃より本学へのご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。女子美術大学は創立126年目を迎えた今を新たな出発と捉え相模原・杉並両キャンパスの環境整備と共に教育・研究の発展を目指しています。芸術学部、短期大学部ともに正課授業の充実はもとより、学科専攻を越えて刺激し合う正課外の活動を多く設けています。国内外で行う研修やコンペティションには

各学科から応募があり、群れることなく各自の判断で参加する行為に独自性と同時に頼もしさを感じています。ニケの会の皆様には女子美祭での協力、教員との懇談会にも多くのご参加をいただき感謝しております。さまざまなイベントを通して交流の輪が広がり深まることを心より願っています。

女子美術大学・女子美術大学短期大学部 学長 小倉 文子

会長挨拶

新入生のご父母の皆様、お嬢様の女子美へのご入学、心よりお祝い申し上げます。また、在校生のご父母の皆様、日頃からニケの会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

ニケの会では、父母の皆様と大学との繋がりを深め、会員

同士が交流し、お嬢様の大学生活をサポートすることを目的に、様々な活動を企画しています。ぜひ、メールアドレスを登録いただくとともに、皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

ニケの会会長 馬場 正樹

お知らせ

女子美と学生を応援する保護者と教職員の会「ニケの会」とは

女子美術大学ニケの会とは「学生の父母等が中心となり、大学と協力して学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と教養を深めること」を目的としています。その目的を達成するために、次のような事業を行っています。

- 学生への助成
- 会員交流イベント
- 年2回会報誌ホームページ掲載
- 特別聴講
- 懇談会開催
- ホームページやメールでの情報提供 等々

特別聴講 短期大学部『共通プログラム』

申込締切
各講義1週間前

短期大学部「共通プログラム」の講義を聴講いただけます。

華道家・本学客員教授

假屋崎省吾先生の講義

5月22日^金、7月24日^金

キャラクターデザイナー・本学特別招聘准教授

おくむらみゆき先生の講義

6月5日^金

13時20分～14時50分(3限目)

杉並キャンパス7201講義室(7号館2階)

申込者多数の場合は抽選といたします。各講義の3日前に当日の詳細(抽選の場合は抽選結果)をメールでお知らせいたします。



お申し込みフォーム

<https://forms.gle/hm8sM1HmcLXo43cQA>



総会・教員との懇談会 6月6日(土) 相模原・杉並キャンパス

申込締切
5/24(日)

※新生・在学生の父母等の皆様どなたでもご参加いただけます。
※お嬢様の所属する専攻・領域・コースが設置されているキャンパスでご参加ください。

総会 13:00～

女子美術大学ニケの会の活動についてご報告し、
今後の計画等をご審議いただきます。



相模原キャンパス

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/rC8NZqkGdKFquQo57>



杉並キャンパス

教員との懇談会 13:30～16:30(予定)

全体会

- ① 学生生活について
 - ・各キャンパスでの大学生活、学生支援体制の紹介
- ② キャリア支援について
 - ・最新の就職・進路状況美大生の就活について
 - ・近年の内定実績、キャリア支援体制の紹介



相模原キャンパス

専攻・領域・コース別

- ③ キャンパスツアー
 - ・教室や工房等の見学
- ④ 教員との懇談
 - ・教員から授業内容等についての説明、質疑応答
 - ・参加者同士の情報交換など



杉並キャンパス

専攻・領域・コース別オンライン懇談会

申込締切 8/16(日)

遠方にお住まいのご父母等の方々にも参加しやすいように、専攻・領域・コース別の懇談会をオンラインにて開催します。
就職支援体制等の紹介、その後、学生が所属する教員と懇談します(授業内容等の説明、質疑応答等)。

8月22日(土) 14時00分～16時00分(予定)
オンライン開催(Google Meetを使用)

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/zXC4oAdA5xMp6LpD8>



美術
学科 洋画専攻
joshibi-yo-ga.com



版画コースの4年生と大学院2年生から選抜された9名の学生が、上田市立美術館で開催された「第50回記念全国大学版画展」に出品しました。3名が「優秀賞」を受賞し、出品者全員と教員が授賞式に出席しました。翌日は大学院生の紙漉き旅行で「内山手すき和紙体験の家」で見聞を深め、実り多い旅行となりました。

美術
学科 立体アート専攻
www.s-art-joshibi.info



女子美祭にて、学生が企画したツノ付きカチューシャ作りのワークショップを開催いたしました。学生の声掛けやレクチャーのおかげで、小さなお子様も楽しみながら熱心に取り組んでいました。また、4年生を中心に1~4年の学生が参加し、他学年との交流を深める良い機会となりました。

デザイン・
工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
joshibi-visualdesign.jp



女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース教授で、2025年度をもって退職される伊勢克也先生をお招きし冬の集中講義を開催しました。学生には「手のひらサイズの家」を制作してもらい、JAMでの退職展に学生の作品も参加いたしました。講義では、現在取り組まれている作品をはじめ、これまでの制作や今回の展示についてお話を伺いました。

デザイン・
工芸学科 プロダクトデザイン専攻
joshibi-product.com



一般社団法人クリエイティブデザインネットワークより町田匠人様をお招きし、AIに関する特別講義を実施しました。AIの基礎からマナー、的確な回答を引き出す方法まで、ワークショップ形式で学び、実際にAIで作成した提案書を学生が発表。安易に依存せず目的に応じて活用する姿勢を身につける、理解を深める有意義な時間となりました。

美術
学科 日本画専攻
www.joshibi.net/nihonga



日本画専攻1年生は、絹本で植物の制作を行いました。和紙とは異なる感覚に戸惑いながら、『裏彩色』や『裏箔』などの技法を取り入れ、思い思いの表現を試みました。



一枚の絵画に仕立てるために絹の裏から和紙を貼る『裏打ち』は、様々な工程を経験し、学ぶことが非常に多い課題です。絹本という素材の扱い、制作の難しさ、その魅力を体験したことは、今後の制作に活かされていくことと思います。

美術
学科 美術教育専攻
www.joshibi.net/kyoiku



夏季休業中に韮崎市民交流センターで小学生を対象にワークショップを行いました。オリジナルの風鈴作りを通し、子供たちと楽しく交流ができました。ワークショップ後は韮崎大村美術館を訪問し、大村智先生から直々に展示物のお話を聞くことができました。1日を通して、とても貴重な経験となりました。

デザイン・
工芸学科 環境デザイン専攻
joshibi-kankyo.com



JID次世代を担うデザイン展2025で優秀賞を受賞しました。企業連携による提案の制作過程で廊下アンケートを実施し、学生や講師の意見を取り入れたことが作品の質の向上に繋がりました。現在は受賞トロフィーを廊下に展示しており受験生や在學生に、周囲を巻き込みながら制作を行う専攻の活発な雰囲気伝える機会となっています。

美術
学科 国際芸術文化専攻
www.joshibi.net/cac



教室を飛び出し、海外を学びの舞台に。専攻の柱である海外研修として、1年次に韓国研修を実施しました。誠信女子大学でのビビンバ作りや韓服の試着、茶道体験に加え、景福宮や現代美術館も訪問。生きた文化を身体で感じながら、隣国の芸術や価値観への理解を深めました。現地学生とも積極的に交流し、学びと発見に満ちた研修となりました。

デザイン・
工芸学科 工芸専攻
joshibi-crafts.net



陶・ガラス分野3年生は町田市立博物館と連携授業を行いました。博物館の学芸員のレクチャーにより所蔵作品への理解を深め、作品の社会的・文化的背景などを紐解きながら、各々の解釈や表現に落とし込み作品を制作しました。この授業は発表を行うことを最終目標とし、国際版画美術館市民展示室にて展覧会を行いました。

杉並キャンパス

アート・デザイン表現学科 **メディア表現領域**
www.joshibi.net/media



2月24日、女子美術大学と東北芸術工科大学による合同アニメーション上映会が東北芸術工科大学で開催されメディア表現領域と短期大学部デザインコースの学生が山形を訪れました。作品上映会場となったサクラダシネマでは、ゲスト講師による講評や各大学教員による講評を実施し、一般公開として多くのお客様にもご来場いただきました。学生同士の交流も生まれ、実り多い時間となりました。

アート・デザイン表現学科 **ヒーリング表現領域**
www.joshibi-healing.net



3年次「壁画制作演習」でヒーリング・アートプロジェクトに取り組みました。東京都立小児総合医療センターのNICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児回復室)の廊下と、待合スペースに作品を導入するものです。2月下旬、完成した12点のアクリル画とガラス面に貼り付けて展示する特殊シートを設置してきました。

アート・デザイン表現学科 **ファッション表現領域**
joshibi-ft.com



1年次の素材基礎演習では、「服＝人を包む最小の空間」と定義し、衣服を建築的に捉えるグループ制作を実施しました。みかんの皮やストッキング、答案用紙などの繊維素材を編む・組む・織るなどの技法で集積させ、身体を大きく包む造形に挑みました。素材の境界を越え、一本の線から立体を構築するプロセスを通じて、ファッション表現の新たな可能性を拓きました。

アート・デザイン表現学科 **クリエイティブ・プロデュース表現領域**
joshibi-cp.net



アートプロデュース(AP)13期生による卒業研究・制作展「あらむしゃプロムナード」を、女子美ガレリアアネオおよび自教室にて実施いたしました(2026年1月15日(困)～1月27日(囚))。グループ展のタイトル、キービジュアル、設置プラン、広報活動のすべてを学生がプロデュースし、4年間の学びの集大成を発表しました。

共創デザイン学科 **共創デザイン学科**
co-lab.joshibi.net



株式会社バンダイナムコエクスペリエンスと「新しい体験型アクティビティ」を考える産学連携プロジェクトを実施しました。商業施設「VS PARK」来場者の満たされていないニーズを探り、企画・提案を実施。実際のお客様に試して頂く機会まで頂きました。約一年にわたり試行錯誤を重ねた、極めて密度の高い取り組みとなりました。

短大 **美術コース**
joshibi-tandai.net



2年生「コンテポラリーアート」の授業では、現代美術の思考を基盤に、学生自身の関心を出発点として、リサーチや対話、試作を重ね、表現の意味や成立条件を探究します。学生たちは互いに刺激を受けながら多様な価値観に触れ、自らの創作を多角的に見つめ直す貴重な学びの機会となりました。

アート・デザイン表現学科 **スペース表現領域**
joshibi-spatial.net



愛される地域の場づくり
スペース表現領域2年次「ヒューマンスペース演習Ⅰ」として東彼杵町ひとこととの公社と協働した地域連携プロジェクトを実施しました。学生と地域が共に調査から設計・施工、運営まで取り組み、芸術文化交流の拠点づくりに挑戦し、実践を通して企画力・協働力・地域と関わる力を育む学びの場となりました。

短大 **デザインコース**
joshibi-tandai.net



60年以上の歴史を誇る短大の活版印刷工房は、「文字とデザインの原点」を学生たちに伝えてきた、女子美の歴史が息づく場所です。1年生のグラフィックの授業では、この工房で学生たちがタイポグラフィを学びます。自らの手で活字を拾い作品に仕上げる経験は、文字の持つ豊かな表現力を実感する貴重な機会となりました。

活動報告

女子美祭「ニケカフェ」出店

10月24日(金)～26日(日)に行われた女子美祭で、両キャンパスにて「ニケカフェ」を出店しました。

オリジナルコーヒーや校章の焼印入りどら焼き、校章とニケの会ロゴ入りサブレ、オリジナルグッズを販売しました。

特にどら焼きとサブレはすぐに完売するほど大好評でした。サポーターとしてたくさんのご父母の方々にお手伝いいただき、ご父母同士の交流の機会にもなりました。



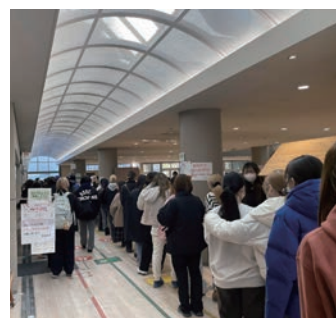
秋の散策ツアー in 築地・谷中・本郷

11月8日(日)に「原聖先生(本学名誉教授)と行く、秋の散策ツアー 125年の女子美をたどる秋の小怪」を開催しました。創立者の一人「横井玉子」ゆかりの地の築地・谷中や、本郷の明治・大正時代の「私立女子美術学校」校舎跡地を巡り、女子美の長い歴史に思いを馳せました。



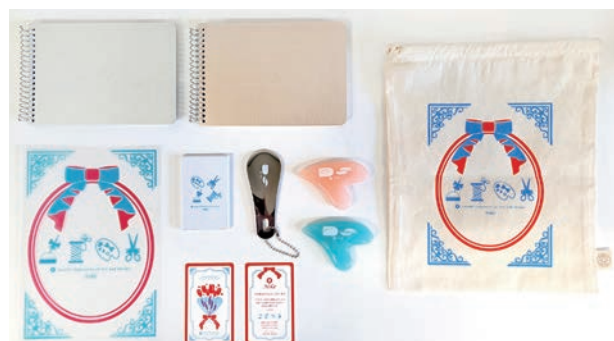
学食ランチ割引支援

12月12日(金)～27日(日)まで両キャンパスにて学食メニューを200円引きする支援を行いました。学生からは喜びの声が聞こえてきました。



卒業記念品 プレゼント

ニケの会より卒業・修了生の皆さんへ、3月10日(日)学位授与式の日卒業記念品を配付いたしました。今年度は、クリアファイル、巾着、カッサ、シューホーン、ポケットミラーをデザインルームの学生さんにデザインしていただき、Jノート等と一緒に渡しました。



特別公開講座 「宇宙・人間・アート」聴講

アート・デザイン表現学科の特別公開講座のうち、4回の講座(9月8日(日)おくむらみゆき特別招聘准教授(キャラクターデザイナー)、9月29日(日)イルカ客員教授(シンガーソングライター)、11月17日(日)萩尾望都客員教授(漫画家)、12月15日(日)山崎直子客員教授(宇宙飛行士)にニケの会会員枠を用意し、聴講しました。参加された方はメモを取るなど、熱心に先生のお話を聴講されていました。

学生生活

2025年度 第49回 五美大展

東京五美術大学連合卒業・修了制作展

2026年2月20日(金)～3月1日(日)

国立新美術館

※東京五美術大学とは「女子美術大学」「多摩美術大学」「東京造形大学」「日本大学芸術学部」「武蔵野美術大学」の5つの美術大学のことです。



JOSHIBISION2025—アタシの明日—

女子美術大学(大学院、大学、短期大学部) 学生選抜作品展

女子美術大学付属高等学校卒業制作展

2026年3月1日(日)～3月5日(金) ※高校は3月6日(土)まで
東京都美術館LB第1・第2展示室



令和7年度

学位・修了証書授与式

2026年3月10日(火)

両キャンパスで学位・修了証書授与式が行われました。

午前 杉並キャンパス

女子美術大学 学位・修了証書 授与式

大学院
芸術学部
短期大学部

アート・デザイン表現学科、短期大学部
10:30～11:00

午後 相模原キャンパス

女子美術大学 学位・修了証書 授与式 大学院
芸術学部

美術学科、デザイン・工芸学科
14:00～14:45

式辞→
小倉女子学長



祝辞←
福下雄二理事長



メールアドレス登録のお願い

ニケの会の活動のご案内、会報誌掲載のお知らせやご父母の方対象の各種説明会等の情報をお知らせしています。

QRコードより、ご登録をお願いいたします。

※ご登録いただいた個人情報は厳重に管理し、ニケの会の活動案内等の目的以外には利用いたしません。

①QRコードからメール送信

②登録完了のメールが届く



役員・サポーター募集

ニケの会では、役員・サポーターを募集しています。役員は、ニケの会の中心となり、月に1回役員会を実施しニケの会の運営に携わります。役員会はオンライン併用で実施していますので、遠方の方でもご参加いただけます。ご興味のある方は、**ニケの会事務局**(下記メールアドレス)までご連絡ください。また、サポーターとして女子美祭等のイベント時に活動のお手伝いして下さる方も募集しています。メールマガジン等でお知らせいたしますので、ぜひお申込みください。

✉ nikenokai@venus.joshibi.jp

役員紹介

※科・専攻・領域名は子女所属

会 長	馬場 正樹	工芸専攻
副 会 長	高橋 弘子	ヴィジュアルデザイン専攻
	金澤 尚美	共創デザイン学科
庶 務	上野 千冬	洋画専攻
	芝崎 育子	洋画専攻
	清水 涼子	立体アート専攻
	桑原 裕子	国際芸術文化専攻
	渡辺 千恵子	ヴィジュアルデザイン専攻
	中野 文美	ヴィジュアルデザイン専攻
	川口 淑子	環境デザイン専攻
	本城 是子	メディア表現領域
	鷺尾 友美	アートプロデュース表現領域
	大林 伊津子	ヒーリング表現領域
	小澤 香織	ヒーリング表現領域
	細谷 晃司	造形学科
	青景 百合子	造形学科
会 計	佐藤 彰子	メディア表現領域
	川島 直子	共創デザイン学科
	細谷 庸子	造形学科
会計監査	森田 美登	洋画専攻
	倉本 理差子	ヴィジュアルデザイン専攻

